

邑知っ子

令和4年(2022年)寅年のスタート

新年あけましておめでとうございます。

今年も邑知長寿会から頂いた立派な注連縄を玄関に飾りました。大晦日から元日に掛けての積雪の中でもしっかりと注連縄が学校を守ってくれていました。元日の朝、誰も足を踏み入れていない運動場は、日差しがキラキラと降り注がれて、とても美しかったです。ただ、これがもし、児童が登校する日ならきっとこんな気持ちになれなかったと思います。昨年のように休校になっていたかもしれません。すっかり雪が溶けている状態に感謝しています。保護者の皆様におかれましては、児童の健康管理に気を付け元気に学校へ送り出してくださいありがとうございます。



令和4年になりましても新型コロナウイルス感染症がわたしたちの生活に影響を及ぼしています。3学期も検温、マスク着用、手洗い、そして、寒さを防ぐ服装の継続をお願いいたします。明日からの天気の変化にも十分お気を付けください。

始業式での講話

- ・「継続・繋がり・創造性」を大切に活動
- ・新年を迎え、心身共に成長していることへの喜び(新たな志の表出)
- ・3学期は「言葉」を通しての成長を期待

<言葉に関連して>

『語彙力を鍛えて考え方の形成をしてほしい。』そういった思いから全校児童に次のようなことを問いかけてみました。

校歌の歌詞に「みんなで・・・」という言葉が入っています。このみんなとは誰と誰と誰のことなのか全校児童に問いかけました。1年生の高田さんが「ぼくは、邑知小学校の生徒全員のことだと思います。」ときちんとした言葉遣いで、はっきりと全校の前でこたえてくれました。思わず拍手が体育館に広がりました。1年生が挙手をして指名され、全校の前で堂々と発表できたのです。その拍手にも幾つかの意味が含まれていました。5年生の野崎さんが「一つは正解の意味の拍手。もう一つは勇気の意味がある。」と話してくれました。3学期の始業式として、これからの学びにもよい影響を与える場面でした。ぜひ、各家庭でも話題にしていただければ幸いです。